

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスたんぼ				公表日	2026年 3月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1		広さは基準以上の広がりがあります。また広く保てるように物の置き場などスペースを保てるように工夫していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1		必要配置人数は満たしています。研修やICTなどを取り入れ効率化を目指して行きます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		冬場など乾燥する時期は、加湿器や濡れタオルを干すなどでできています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		必要に応じてレストルームを逃げ場として使っている子もいます。個別の部屋を使ってよいことを適宜声掛けしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		事前打ち合わせと反省会にて行っている。また運営会議で全員で情報を共有しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		集計後運営会議にて情報を共有し意見を出し合っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		年に一度面談を行っています。	面談以外にもいつでも意見を言えるような雰囲気を作っていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1		今後、外部評価をしてもらえるように検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		年度末にHPにて公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	8		モニタリングを行うことでその時の状況に応じた支援計画が作られています。		
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8				
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		毎月ケース会議を行うことで共通の支援ができています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8				
	16	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		固定化されないように職員も交代制で行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎日決まった時間に行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		毎日決まった時間に行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		業務日誌を書くことで支援計画作成の際にも振り返りができる。	
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		当番時の活動やお誕生日会のおやつなどで自分で選べるようにしています。またおやつも嫌な物があった際はボックスから交換できるようにしています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		必要時には行っていくが、今年度は新入生がいませんでした。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		必要時には行っていくが、今年度は新入生がいませんでした。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		同じ法人内での児童発達支援センターとは連携が取れています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		夏祭りなどの地域参加を呼び掛けている。	公園や児童館の利用など交流できる場を広めていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1		事業所としては参加できていないが法人では参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		日々の送迎や連絡帳のやり取りで伝え合っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		今年度よりサロンの開催し、交流できる場が増えました。	研修情報の収集や提供を行っていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時や変更があった際は保護者会などで説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		モニタリングや面談を通して意向を確認しています。	
	38	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	8			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		サロンや面談、保護者会など相談のしやすい場を設けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8		保護者会だけでなく、サロンを始めたことにより保護者同士の交流の場が増えた。サロンや保護者会での交流や運動会ではきょうだいの参加呼びかけなどしている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		定期で通信の配布や年度末にSNSを使い発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		夏祭りには近隣の方などにも声掛けしています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		研修を通し周知している。また、見やすい場所に掲示しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		発作時の対応マニュアルを病院の先生に確認をさせていただきつつ、保護者と密に連携しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		必要に応じて行っていくが現在は無し。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画は作成している応急手当講習など必要な訓練はしています。	防犯に向けての意識向上の為、警察などの協力を仰ぎ研修も検討していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		保護者会にて緊急時の対応など説明しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		運営会議での共有、事務室に張り出すことで何度も確認できるようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		法人にて虐待防止委員会開催や同法人の他事業所と合同で研修も行っていきます。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	8		法人全体で委員会を開催しておりそれを事業所に報告している。保護者にも個別支援計画書作成時にお伝えしています。		